

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和2年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和2年8月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月12日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

【参考】(自主検査)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全垂鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月12日	1回/年

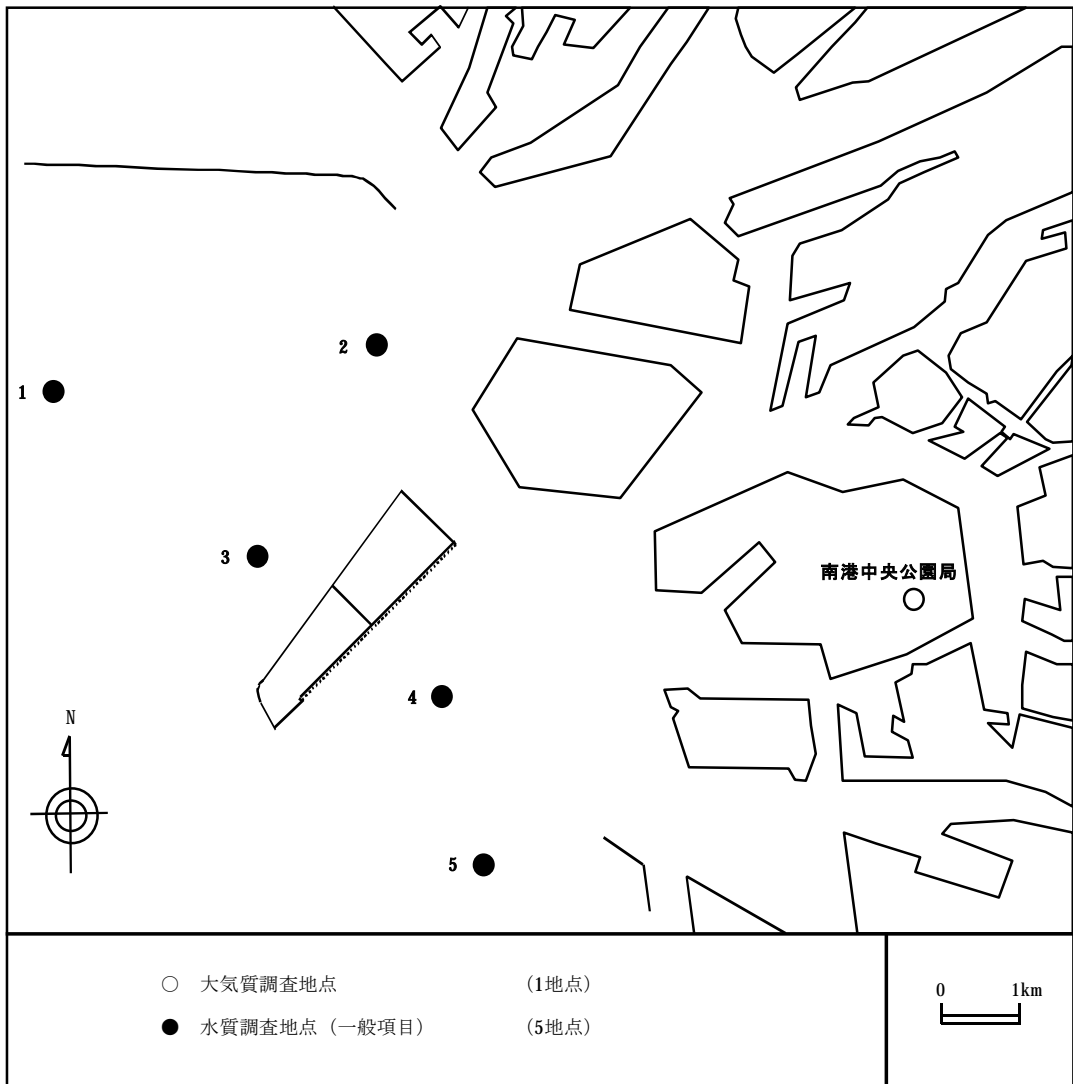
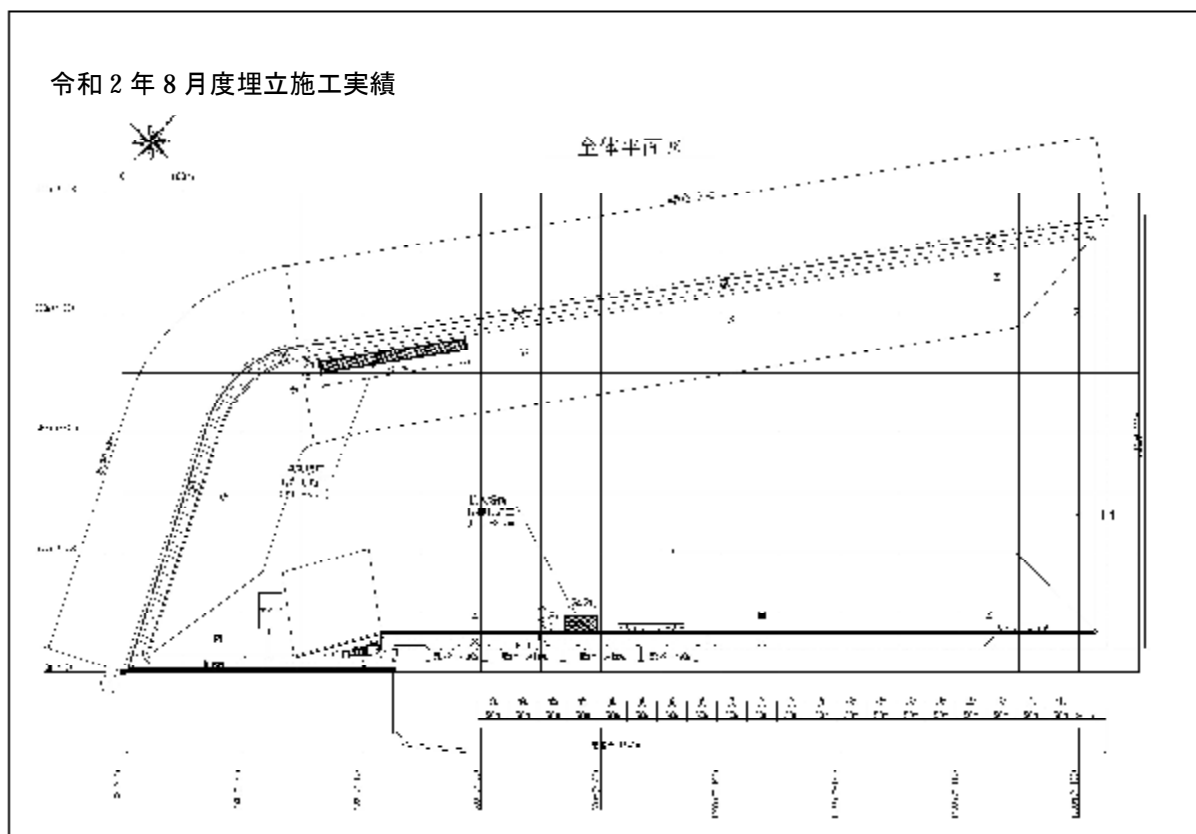


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和2年8月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
5,686,359	40.7

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.005ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.008ppm、1時間値の最高値は 0.019ppm であり、環境基準値を下回っていた。

- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.015ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.022ppm であり、環境基準値の範囲内であった。

- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.025mg/m³であった。また、日平均値の最高値は 0.059mg/m³、1時間値の最高値は 0.107mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.5～8.7、下層で 8.1～8.2 の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1、3、5 (8.5)、調査地点 2 (8.7)、調査地点 4 (8.6) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 7.7～8.6 であり、概ね同程度であることから本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 4.3～5.0mg/L、下層で 1.7～2.0mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (4.6)、調査地点 2 (5.0)、調査地点 3、4 (4.3)、調査地点 5 (4.4) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9 であり、概ね同程度であることから本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値 : 5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 8.6~11mg/L、下層で 3.4~6.8mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1 (3.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.36~0.56mg/L、下層で 0.21~0.29mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.032~0.045mg/L、下層で 0.020~0.027mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

6) 濁度

濁度は上層で 5~10 度(カリン)、下層で 1~5 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~5mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~7mg/L の範囲であった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 8.3~22 μ g/L、下層で 2.3~5.4 μ g/L の範囲であった。

【参考】 ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、全亜鉛

ノニルフェノールは報告下限値未満 (<0.00006mg/L)、LAS は報告下限値未満 (<0.0006mg/L) 及び全亜鉛は 0.001~0.010mg/L の範囲であり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1) 大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m³ 以下であること。

(2) 水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度 (pH)	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量 (COD)	3mg/L 以下
	溶存酸素量 (DO)	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質 (油分等)	検出されないこと
III	全窒素 (T-N)	0.6mg/L 以下
	全燐 (T-P)	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が **75%**以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「**75%**水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ **0.75×n** 番目（**n** は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって **75%水質値**（**0.75×n** 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち **75%**以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項目		区分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1~5)	
			最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-	
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)	
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)	
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8	
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9	
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)	
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)	
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)	
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)	

- 注) 1. 「最大~最小」の値は、調査地点 1~5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小~最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小~最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔令和2年8月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10ng/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20ng/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [令和2年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.004	0.005
	2 (日)	0.004	0.005
	3 (月)	0.005	0.006
	4 (火)	0.005	0.006
	5 (水)	0.008	0.019
	6 (木)	0.005	0.008
	7 (金)	0.005	0.007
	8 (土)	0.006	0.008
	9 (日)	0.004	0.005
	10 (月)	0.004	0.005
別	11 (火)	0.004	0.005
	12 (水)	0.005	0.008
	13 (木)	0.005	0.006
	14 (金)	0.005	0.006
	15 (土)	0.005	0.006
	16 (日)	0.005	0.006
	17 (月)	0.005	0.008
	18 (火)	0.004	0.005
	19 (水)	0.004	0.005
	20 (木)	0.005	0.005
値	21 (金)	0.005	0.007
	22 (土)	0.004	0.006
	23 (日)	0.005	0.007
	24 (月)	0.005	0.006
	25 (火)	0.005	0.007
	26 (水)	0.005	0.006
	27 (木)	0.005	0.007
	28 (金)	0.005	0.005
	29 (土)	0.004	0.005
	30 (日)	0.004	0.005
	31 (月)	0.005	0.006
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和2年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.004	0.007
	2 (日)	0.003	0.004
	3 (月)	0.004	0.008
	4 (火)	0.007	0.021
	5 (水)	0.008	0.026
	6 (木)	0.008	0.033
	7 (金)	0.010	0.047
	8 (土)	0.006	0.015
	9 (日)	0.005	0.012
	10 (月)	0.005	0.010
別	11 (火)	0.008	0.016
	12 (水)	0.007	0.026
	13 (木)	0.004	0.011
	14 (金)	0.003	0.006
	15 (土)	0.003	0.005
	16 (日)	0.003	0.004
	17 (月)	0.004	0.006
	18 (火)	0.004	0.006
	19 (水)	0.005	0.011
	20 (木)	0.005	0.010
値	21 (金)	0.006	0.022
	22 (土)	0.004	0.005
	23 (日)	0.004	0.005
	24 (月)	0.004	0.006
	25 (火)	0.005	0.010
	26 (水)	0.004	0.006
	27 (木)	0.006	0.012
	28 (金)	0.009	0.026
	29 (土)	0.005	0.013
	30 (日)	0.004	0.006
	31 (月)	0.009	0.042
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (ppm)		0.005	
日平均値の最高値 (ppm)		0.010	
1時間値の最高値 (ppm)		0.047	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [令和2年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (土)	0.017	0.033
	2 (日)	0.009	0.017
	3 (月)	0.015	0.026
	4 (火)	0.017	0.039
	5 (水)	0.022	0.039
	6 (木)	0.017	0.036
	7 (金)	0.014	0.023
	8 (土)	0.009	0.015
	9 (日)	0.006	0.011
	10 (月)	0.006	0.011
別	11 (火)	0.011	0.018
	12 (水)	0.015	0.037
	13 (木)	0.011	0.018
	14 (金)	0.009	0.016
	15 (土)	0.010	0.023
	16 (日)	0.010	0.021
	17 (月)	0.017	0.029
	18 (火)	0.017	0.033
	19 (水)	0.019	0.031
	20 (木)	0.020	0.033
値	21 (金)	0.022	0.033
	22 (土)	0.014	0.019
	23 (日)	0.014	0.037
	24 (月)	0.015	0.023
	25 (火)	0.019	0.031
	26 (水)	0.016	0.025
	27 (木)	0.022	0.031
	28 (金)	0.018	0.032
	29 (土)	0.012	0.023
	30 (日)	0.011	0.016
	31 (月)	0.018	0.028
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (ppm)		0.015	
日平均値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値の最高値 (ppm)		0.039	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和2年8月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (土)	0.020	82.2	0.037
	2 (日)	0.012	74.2	0.020
	3 (月)	0.019	77.2	0.034
	4 (火)	0.024	71.0	0.044
	5 (水)	0.030	73.5	0.051
	6 (木)	0.025	66.6	0.063
	7 (金)	0.024	59.7	0.068
	8 (土)	0.015	59.9	0.028
	9 (日)	0.011	55.8	0.023
	10 (月)	0.011	55.7	0.021
別	11 (火)	0.019	56.8	0.034
	12 (水)	0.022	66.9	0.048
	13 (木)	0.015	72.3	0.029
	14 (金)	0.012	72.6	0.022
	15 (土)	0.014	74.5	0.026
	16 (日)	0.014	76.1	0.024
	17 (月)	0.021	82.5	0.032
	18 (火)	0.022	80.6	0.038
	19 (水)	0.024	81.0	0.037
	20 (木)	0.024	80.4	0.043
値	21 (金)	0.027	79.6	0.054
	22 (土)	0.018	78.6	0.023
	23 (日)	0.017	79.0	0.041
	24 (月)	0.019	79.4	0.028
	25 (火)	0.024	78.6	0.041
	26 (水)	0.021	78.7	0.030
	27 (木)	0.027	79.8	0.041
	28 (金)	0.028	66.0	0.058
	29 (土)	0.017	69.7	0.031
	30 (日)	0.015	73.2	0.021
	31 (月)	0.026	67.8	0.064
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		742		
月平均値 (ppm)		0.020		
日平均値の最高値 (ppm)		0.030		
1時間値の最高値 (ppm)		0.068		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		73.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO₂ 及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO₂ 及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和2年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (土)	0.017	0.039
	2 (日)	0.025	0.042
	3 (月)	0.027	0.044
	4 (火)	0.039	0.075
	5 (水)	0.059	0.089
	6 (木)	0.039	0.069
	7 (金)	0.038	0.077
	8 (土)	0.053	0.107
	9 (日)	0.021	0.039
	10 (月)	0.010	0.019
別	11 (火)	0.017	0.030
	12 (水)	0.017	0.030
	13 (木)	0.021	0.041
	14 (金)	0.023	0.048
	15 (土)	0.022	0.041
	16 (日)	0.026	0.057
	17 (月)	0.027	0.052
	18 (火)	0.019	0.036
	19 (水)	0.023	0.052
	20 (木)	0.028	0.040
値	21 (金)	0.028	0.066
	22 (土)	0.028	0.047
	23 (日)	0.020	0.045
	24 (月)	0.027	0.047
	25 (火)	0.029	0.047
	26 (水)	0.020	0.051
	27 (木)	0.019	0.048
	28 (金)	0.016	0.049
	29 (土)	0.013	0.041
	30 (日)	0.024	0.047
	31 (月)	0.014	0.032
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m ³)		0.025	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.059	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.107	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第7号（埋立地関連）

気象観測結果（風向・風速）[令和2年8月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (土)	0.1	0.3	CALM	CALM
	2 (日)	0.1	0.3	CALM	CALM
	3 (月)	0.1	0.2	CALM	CALM
	4 (火)	0.1	0.3	CALM	CALM
	5 (水)	0.1	0.3	CALM	CALM
	6 (木)	0.1	0.2	CALM	CALM
	7 (金)	0.1	0.4	WNW	CALM
	8 (土)	0.1	0.7	NW	CALM
	9 (日)	0.1	0.6	WNW	CALM
	10 (月)	0.1	0.4	S	CALM
別	11 (火)	0.1	0.6	W, WNW	CALM
	12 (水)	0.0	0.2	CALM	CALM
	13 (木)	0.1	0.2	CALM	CALM
	14 (金)	0.1	0.2	CALM	CALM
	15 (土)	0.1	0.3	CALM	CALM
	16 (日)	0.1	0.5	W	CALM
	17 (月)	0.2	0.9	N	CALM
	18 (火)	0.4	1.2	N	NE
	19 (水)	0.3	1.0	WNW	CALM
	20 (木)	0.1	0.8	W	CALM
値	21 (金)	0.2	0.5	W	CALM
	22 (土)	0.4	1.5	SE	CALM
	23 (日)	0.2	0.7	W	CALM
	24 (月)	0.0	0.2	CALM	CALM
	25 (火)	0.3	1.1	W	CALM
	26 (水)	0.3	0.8	WNW	CALM
	27 (木)	0.3	0.9	ESE	CALM
	28 (金)	0.4	1.5	SW	CALM
	29 (土)	1.0	2.9	WSW	NW
	30 (日)	0.8	2.2	WSW	CALM
	31 (月)	0.7	1.5	WSW	NW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.2			
月最大風速 (m/s)		2.9			
月最多風向 (16方位)		W			

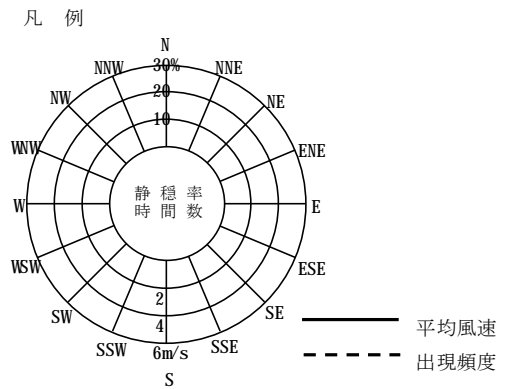
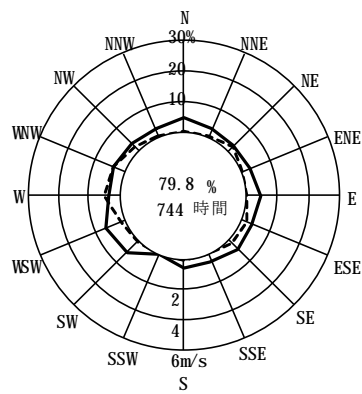
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和2年8月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	4	15	2	2	11	9	1	2	0	3	9	39	29	15	5	4	594	744
頻度 (%)	0.5	2.0	0.3	0.3	1.5	1.2	0.1	0.3	0.0	0.4	1.2	5.2	3.9	2.0	0.7	0.5	79.8	-
平均風速 (m/s)	0.6	0.5	0.6	0.9	0.7	0.8	0.5	0.6	-	1.1	1.3	0.7	0.8	0.7	0.6	1.0	0.1	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和2年8月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和2年8月分〕

調査日：令和2年8月12日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	12:50	13:17	12:03	11:05	9:52	-			-	
透明度 [m]	2.1	1.9	2.2	2.1	1.7	1.7	～	2.2	2.0	
水温 [°C]	29.1	29.5	28.7	28.8	28.5	28.5	～	29.5	28.9	
	22.2	23.0	23.9	23.9	23.7	22.2	～	23.9	23.3	
塩分 [-]	25.6	21.5	25.8	23.9	23.2	21.5	～	25.8	24.0	
	31.4	30.6	31.3	30.7	31.3	30.6	～	31.4	31.1	
濁度 [度(カリン)]	5	10	6	7	9	5	～	10	7	
	2	4	1	2	5	1	～	5	3	
浮遊物質 (SS) [mg/L]	5	4	3	3	3	3	～	5	4	
	1	2	<1	1	7	<1	～	7	2	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.5	8.7	8.5	8.6	8.5	8.5	～	8.7	-	
	8.1	8.2	8.1	8.1	8.1	8.1	～	8.2	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	4.6	5.0	4.3	4.3	4.4	4.3	～	5.0	4.5	
	1.7	2.0	1.7	2.0	1.9	1.7	～	2.0	1.9	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	8.6	11	8.6	9.0	9.2	8.6	～	11	9.3
		3.4	5.2	6.8	6.2	6.7	3.4	～	6.8	5.7
	飽和度 [%]	129	163	129	133	135	129	～	163	138
		47	72	97	88	95	47	～	97	80
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.36	0.52	0.38	0.44	0.56	0.36	～	0.56	0.45	
	0.21	0.24	0.21	0.25	0.29	0.21	～	0.29	0.24	
全磷 (T-P) [mg/L]	0.035	0.045	0.032	0.037	0.033	0.032	～	0.045	0.036	
	0.026	0.022	0.022	0.027	0.020	0.020	～	0.027	0.023	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	8.3	22	9.7	15	20	8.3	～	22	15	
	2.9	5.4	2.3	3.9	2.4	2.3	～	5.4	3.4	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果

調査日：令和2年8月12日

項目	調査点					項目	環境基準値
	1	2	3	4	5		
ノニルフェノール [mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	ノニルフェノール [mg/L]	0.001
報告下限値 0.00006							
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) [mg/L]	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS) [mg/L]	0.01
報告下限値 0.0006							
亜鉛 [mg/L]	0.004	0.010	0.001	0.002	0.005	亜鉛 [mg/L]	0.02
報告下限値 0.001							